

「山門水源の森」自然探勝ハイク

2020年 8月10日

<参加メンバー> 9人(男性5人、女性4人)

< 天 候 > 晴れ

< コースタイム >

JR川西池田駅前 8:00 発
 10:15 山門水源の森駐車場着 (実は地元の斎場の駐車場) 10:23 発 ~ 10:32 森の楽舎 (管理棟) 10:39 発 ~ 10:56 湿原 ~ 11:49 散策道最高点 (守護岩) 標高 520 m ~ 日本海が見える所へと 530m地点を目指す、4年前の思い違いで無駄なアルバイトとなり、引き返す途中でランチタイム ~ 12:55 日本海が見える 540m地点 13:00 ~ 13:05 元の散策道 ~ 13:12 ジョーズ岩 (サメ岩) ~ 13:58 湿原への分岐 ~ 13:58 森の楽舎 14:19 発
 帰路、北近江リゾートで汗を流して戻った

< 山行の概要 >

「山の日」は2016年に制定されたが、それに合わせて北摂山の会でも記念の山行をと同年に企画して、この「山門水源の森」山行を行った。それから4年経ったが、山の日を意識を考えるには適所ということで、ここを知らない人に是非行ってもらいたくて再度企画した。駅からのアプローチが長く、交通の利便も悪いことから今回はマイカー利用で行った。

山門水源の森はゴルフ場建設など自然破壊の危機にあったが、自然保護の運動の中で、滋賀県が公有地化して保全され、更に元の姿に復元する活動が現在も続けられている。保護団体がしっかり管理されていて元の自然への復元目指して努力されている。付属湿地 (ビオトープ) には白く美しいサギソウが咲いていて、ハッチョウトンボやイモリなども生息している。森や湿原の植物、小動物のことなどを学びにはとても良いところである。

肝心の山の方は一部急坂があるが初心者でも安心して行けるルートである。難点は樹林の中のルートであるため、展望が今ひとつというところであるが、我々が行ったオプションルートの日本海と琵琶湖が見えるビューポイントがあり、是非行ってもらいたい。



1. 「山門水源の森」駐車場に到着



2. 炎天下の中を出発



2. 「山門水源の森」の案内解説板



4. 管理棟となっている森の楽舎



5. 森の楽舎前の付属湿地、ビオトープではイモリが出迎えてくれた



6. 沢コースの入り口から入山していく



7. ボランティアの方たちが道をきれいに整備しており、気持ちよく歩ける



8. 中央湿原に到着 高層湿原の成り立ちなどを解説している



9. 湿原を遠望する 下山は奥に見える尾根を下る



10. 湿原の西側を巻くように進む



11. 南部湿原 湿原は保護のため囲われていて近づけないが、希少な植物が多いと記載されている。



12. ヒノキの森の解説板



13. プナの森の解説板 主要なところには解説板が設置されていて、良い勉強になる



14. 一般コースの最高点にある守護岩



15. コースから逸れて日本海が見える場所へと向かうが...



16. 4年前に行ったはずが、ルートの間違って引き返すことに



17. 間違いに気づき、ルートを探してついに見発見



18. 標高 540mのこの場所からは遠く北に日本海、西には琵琶湖が望める



19. カメラマン以外全員集合



20. 元のコースに戻り、下山を開始する。下山後すぐにジョーズ岩(サメ岩)が地面から突き出ている



21. ここにはアカガシの純林がある



22. そして珍しいユキバツバキの群生地もある



23. 湿原方面との分岐 湿原へは向かわず一気に下山する



24. ようやく森の楽舎に戻ってきた この後、ビオトープの動植物を鑑賞して帰路についた



25. ビオトープに咲くヒツジグサ



26. 日本一小さいハッチョウトンポ ここはどこかに写っているのだが...



27. またしてもイモリ 正確にはアカハライモリというらしい 何匹も生息している



28. ガマ



29. この時期いつも咲いている白くて可愛いサギソウ

